

平成25年2月～平成25年5月

二人の「一郎」文通展

芦北町田浦 藤崎家住宅 ^{せきしょうかん} 赤松館・主屋二階展示室

開館日：土・日・月 開館時間：午前10時から午後4時

徳富猪一郎(蘇峰)を支援した五代目藤崎彌一郎

天下の爲に五千円

新島先生亡き後も意志は変わらず

【展示内容】

- 彌一郎宛て徳富蘇峰書簡
- 国民之友 創刊号など約三百冊
- 将来之日本(徳富猪一郎)
- 撰擧實録(民友社) など

【お問合せ】

NPO法人赤松館保存会
熊本県葦北郡芦北町大字田浦788
Tel 0966-87-2866
<http://sekisyokan.jp>

猪一郎(1863生)と彌一郎(1851生)は13歳の年齢差がありましたが、二人の間にはあついで文通がありました。猪一郎の、国民新聞社を設立したいというあついで願望で始まり、死の病床にある彌一郎あての見舞状で終わる一連の文通には迫力に満ちたものがあり、その文脈を一目で追えるように配置しました。

その他、「将来之日本」「撰擧實録」等々、明治初期の珍しい刊行物に加え、創刊号以来の二七五冊に及ぶ「国民之友」も展示しています。